

青森県経済統計報告

平成 31 年 4 月 3 日

企画政策部統計分析課

1 青森県の推計人口(平成 31 年 3 月 1 日現在)..... 1

県人口 1,257,081 人 (対前月 1,672 人減少)	
自然動態	1,086 人減少 (出生者数 560 人、死亡者数 1,646 人)
社会動態	586 人減少 (転入者数 966 人、転出者数 1,552 人)

2 本県の経済動向 (平成 31 年 1 月・2 月の経済指標を中心として)

(1) 経済概況

本県経済は、緩やかに回復している。ただし、生産や消費の動向については、引き続き注視していく必要がある。

(2) 主要経済指標の動向

- (2-1) 生産動向 ・平成 31 年 1 月の**青森県鉱工業生産指数**(平成 22 年=100)は、季節調整済指数が 109.3 で、前月比 5.4%の上昇となり、3 カ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は 102.1 で、前年同月比 3.2%の上昇となり、6 カ月ぶりに前年同月を上回った。 ... 2
- (2-2) 雇用労働 ・平成 31 年 1 月の**定期給与**は 218,896 円で前年同月比 1.7%増となった。 ... 3
総実労働時間は 140.4 時間で前年同月比 3.1%減、**所定外労働時間**は 9.5 時間で前年同月比 10.4%減となった。
・平成 31 年 2 月の**有効求人倍率**(季節調整値)は 1.29 倍で、前月を 0.06 ポイント下回った。
- (2-3) 物 価 平成 31 年 2 月の**青森市消費者物価指数**(平成 27 年=100)は、総合指数が 102.1 となり、前月比 0.1%の下落、前年同月比 0.1%の上昇となった。 ... 5
また、生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 101.9 となり、前月比 0.1%の上昇、前年同月比 0.4%の上昇となった。
- (2-4) 個人消費 ・平成 31 年 2 月の**百貨店・スーパー販売額**は、全店舗ベースが 124 億円で前年同月比 0.3%減となり、5 カ月連続で前年同月を下回った。また、既存店ベースでも前年同月比 0.3%減となり、5 カ月連続で前年同月を下回った。 ... 6
・平成 31 年 2 月の軽乗用車を含めた**乗用車新車登録・届出台数**は 3,729 台で、前年同月比 1.5%減となり、2 カ月連続で前年同月を下回った。
・平成 31 年 2 月の**観光入込客数**は、主な観光施設が 458 千人で前年同月比 1.1%増となり、2 カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は 108 千人で前年同月比 1.6%増となり、5 カ月連続で前年同月を上回った。
- (2-5) 建 設 ・平成 31 年 2 月の**新設住宅着工戸数**は 475 戸で、前年同月比 84.8%増となり、2 カ月連続で前年同月を上回った。 ... 7
・平成 31 年 2 月の**公共工事請負額**は 28 億 5,500 万円で前年同月比 32.5%減となり、6 カ月連続で前年同月を下回った。
- (2-6) 企業倒産 平成 31 年 2 月の**企業倒産**は、件数は 3 件で前年同月比 40.0%減となった。 ... 8
負債総額は 8,000 万円で前年同月比 44.8%減となった。

(3) 景気動向指数 C I (平成 31 年 1 月分) 9

先行指数	128.0 (前月を 9.9 ポイント上回り、2 カ月ぶりに上昇した)
一致指数	168.6 (前月を 17.5 ポイント上回り、2 カ月ぶりに上昇した)
遅行指数	105.7 (前月を 0.2 ポイント下回り、4 カ月連続で下降した)

1 青森県の推計人口（平成31年3月1日現在）

【概況】

平成31年3月1日現在の本県推計人口は、1,257,081人で、前月に比べ1,672人の減少となった。

○自然動態

出生者数が560人、死亡者数が1,646人で、1,086人の減少となった。

○社会動態

転入者数が966人、転出者数が1,552人で、586人の減少となった。

総人口の推移

(単位：人)

	総数	男	女	対前月 増減率	増減数	自然			社会		
						増減数	出生者数	死亡者数	増減数	県外からの 転入者数	県外への 転出者数
昭 45.10.1	1,427,520	685,477	742,043	-	10,929	-	-	-	-	-	-
50.10.1	1,468,646	707,232	761,414	-	41,126	-	-	-	-	-	-
55.10.1	1,523,907	735,444	788,463	-	55,261	-	-	-	-	-	-
60.10.1	1,524,448	731,439	793,009	-	541	-	-	-	-	-	-
平 2.10.1	1,482,873	704,758	778,115	-	-41,575	-	-	-	-	-	-
7.10.1	1,481,663	704,189	777,474	-	-1,210	-	-	-	-	-	-
12.10.1	1,475,728	702,573	773,155	-	-5,935	-	-	-	-	-	-
17.10.1	1,436,657	679,077	757,580	-	-39,071	-	-	-	-	-	-
22.10.1	1,373,339	646,141	727,198	-	-63,318	-	-	-	-	-	-
27.10.1	1,308,265	614,694	693,571	-	-65,074	-	-	-	-	-	-
30. 3. 1	1,273,573	598,360	675,213	-0.107%	-1,366	-940	626	1,566	-426	963	1,389
30. 4. 1	1,266,889	594,942	671,947	-0.525%	-6,684	-1,003	617	1,620	-5,681	3,686	9,367
30. 5. 1	1,266,707	595,089	671,618	-0.014%	-182	-819	586	1,405	637	3,393	2,756
30. 6. 1	1,265,852	594,602	671,250	-0.067%	-855	-811	717	1,528	-44	1,369	1,413
30. 7. 1	1,264,951	594,144	670,807	-0.071%	-901	-737	624	1,361	-164	1,109	1,273
30. 8. 1	1,264,201	593,838	670,363	-0.059%	-750	-732	660	1,392	-18	1,645	1,663
30. 9. 1	1,263,717	593,737	669,980	-0.038%	-484	-719	728	1,447	235	1,840	1,605
30.10.1	1,262,815	593,290	669,525	-0.071%	-902	-709	642	1,351	-193	1,210	1,403
30.11.1	1,262,049	592,947	669,102	-0.061%	-766	-879	648	1,527	113	1,445	1,332
30.12.1	1,261,169	592,569	668,600	-0.070%	-880	-844	659	1,503	-36	1,094	1,130
31. 1. 1	1,260,124	592,065	668,059	-0.083%	-1,045	-898	595	1,493	-147	987	1,134
31. 2. 1	1,258,753	591,430	667,323	-0.109%	-1,371	-1,260	612	1,872	-111	1,075	1,186
31. 3. 1	1,257,081	590,540	666,541	-0.133%	-1,672	-1,086	560	1,646	-586	966	1,552

2月中の人口動態の推移

(単位：人)

年月		21.2	22.2	23.2	24.2	25.2	26.2	27.2	28.2	29.2	30.2	31.2
自然 動態	出生者数	679	763	681	709	655	657	642	662	621	626	560
	死亡者数	1,236	1,243	1,301	1,602	1,477	1,356	1,396	1,543	1,478	1,566	1,646
	自然増減数	-557	-480	-620	-893	-822	-699	-754	-881	-857	-940	-1,086
社会 動態	県外からの 転入者数	1,259	1,063	1,017	1,012	992	1,028	965	1,088	999	962	966
	県外への 転出者数	1,567	1,325	1,266	1,332	1,266	1,292	1,384	1,408	1,359	1,389	1,552
	社会増減数	-308	-262	-249	-320	-274	-264	-419	-320	-360	-427	-586
増減数計		-865	-742	-869	-1,213	-1,096	-963	-1,173	-1,201	-1,217	-1,367	-1,672

※1 昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年は国勢調査人口（確定値）。

※2 平成27年11月1日以降の人口は、平成27年国勢調査人口（確定値 総務省統計局 平成28年10月26日）を基礎に推計している。

※3 増減数は、昭和45、50、55、60、平成2、7、12、17、22、27年が各々の前回国勢調査、その他が前月推計人口に対するものである。

※4 算出方法

県の推計人口 = 前月の人口 + 自然増減数（出生者数 - 死亡者数） + 社会増減数（県外からの転入者数 - 県外への転出者数）

2 本県の経済動向

(2) 主要経済指標の動向

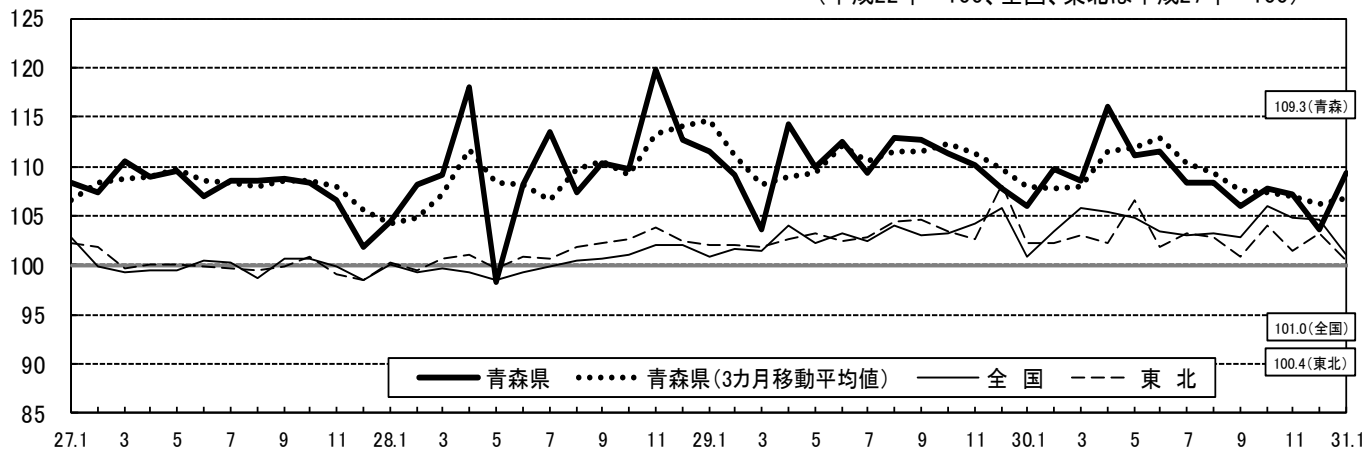
(2-1) 生産動向

平成31年1月の青森県鉱工業生産指数(平成22年=100)は、季節調整済指数が109.3で、前月比5.4%の上昇となり、3カ月ぶりに前月を上回った。また、原指数は102.1で、前年同月比3.2%の上昇となり、6カ月ぶりに前年同月を上回った。

季節調整済指数で前月からの動きをみると、輸送機械工業、生産用機械工業、金属製品工業などが上昇に寄与した一方、業務用機械工業、化学工業、食料品工業などが低下し、鉱工業全体では5.4%の上昇となった。

青森県・全国・東北の鉱工業生産指数推移(季節調整済指数)

(平成22年=100、全国、東北は平成27年=100)

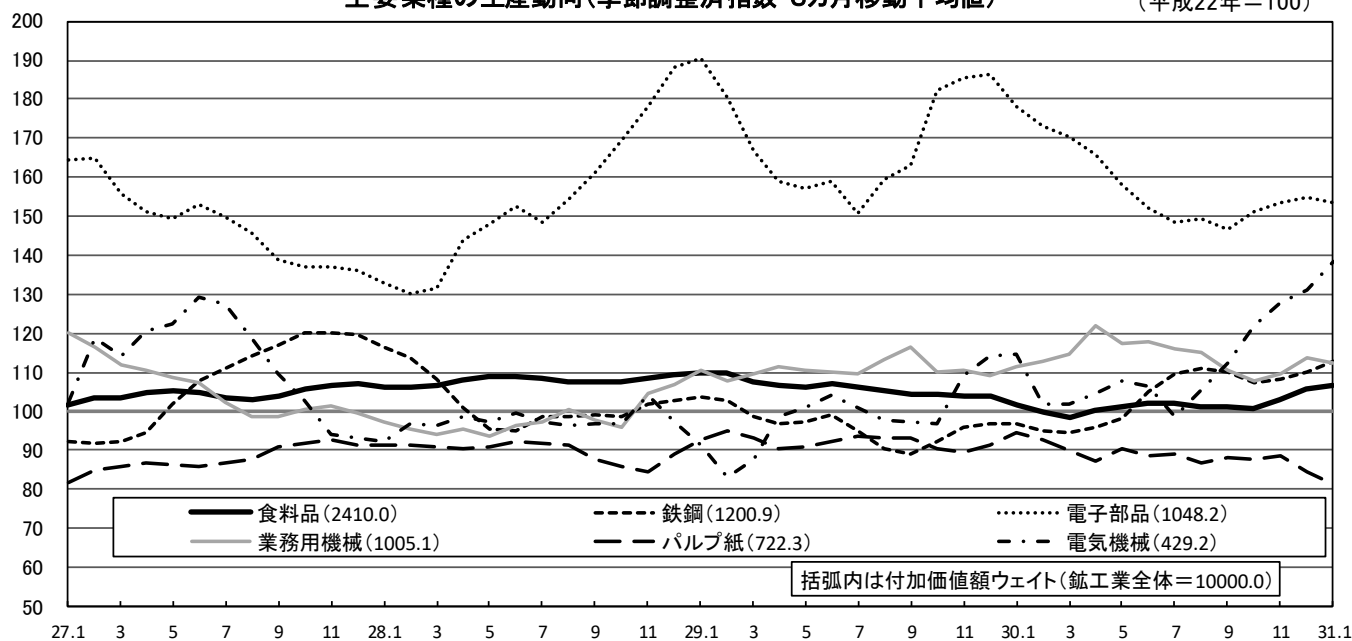


◎業種別動向(前月比) 鉱工業全体 5.4%

プラス			マイナス		
業種	前月比(%)	寄与率(%)	業種	前月比(%)	寄与率(%)
輸送機械工業	280.6	165.0	業務用機械工業	-14.5	-76.8
生産用機械工業	441.3	99.2	化学工業	-45.5	-64.2
金属製品工業	32.2	55.2	食料品工業	-3.6	-41.3
電子部品・デバイス工業	6.4	43.2	鉄鋼業	-3.2	-20.0
プラスチック製品工業	5.8	2.1	電気機械工業	-6.4	-17.5

主要業種の生産動向(季節調整済指数・3カ月移動平均値)

(平成22年=100)



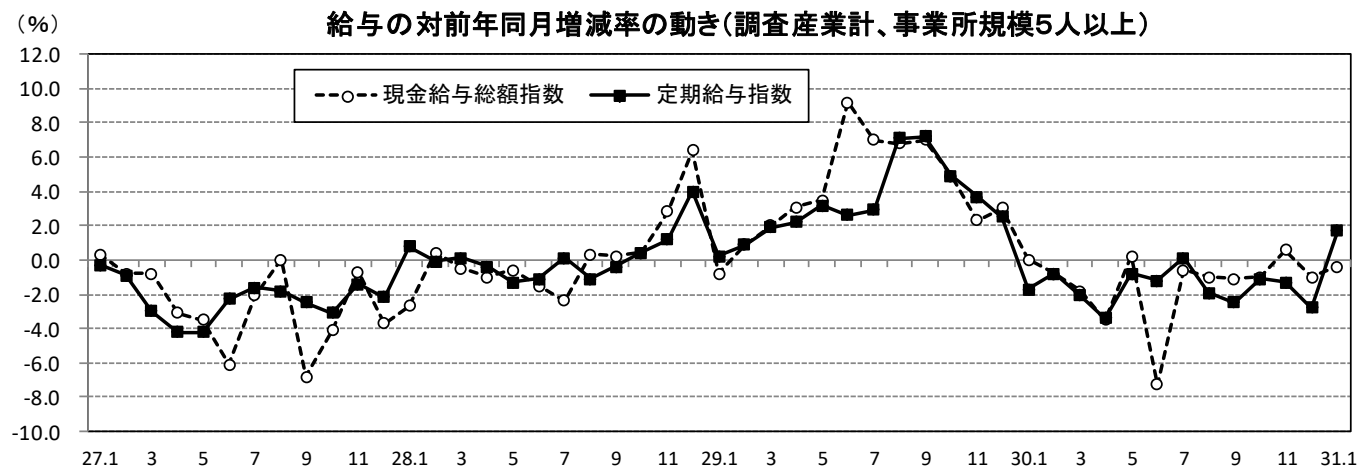
資料：県統計分析課「青森県鉱工業生産指数(速報)」

(2-2) 雇用労働

(2-2-1) 給与・労働時間（毎月勤労統計調査結果）

平成31年1月の定期給与は218,896円で、定期給与指数（平成27年=100）では101.3となり、前年同月比1.7%増と6カ月ぶりの増（現金給与総額226,406円、現金給与総額指数90.3、前年同月比0.4%減）となった。また、実額で比較した定期給与の全国対比は83.4となった。

総実労働時間は140.4時間で、総実労働時間指数は90.8となり、前年同月比3.1%減と5カ月連続の減となった。このうち、所定外労働時間は9.5時間で、所定外労働時間指数は82.6となり、前年同月比10.4%減と12カ月連続の減となった。



資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

給与及び労働時間の全国との比較(調査産業計、事業所規模5人以上)

	実 数		指数(H27=100)		対前年同月増減率	
	青森県	全 国	青森県	全 国	青森県	全 国
現金給与総額	226,406 円	277,001 円	90.3	87.8	-0.4 %	1.2 %
定期給与	218,896 円	262,542 円	101.3	100.8	1.7 %	0.6 %
特別給与	7,510 円	14,459 円	—	—	—	12.7 %
総実労働時間	140.4 時間	130.5 時間	90.8	90.4	-3.1 %	-2.4 %
所定内労働時間	130.9 時間	120.5 時間	91.5	90.3	-2.6 %	-2.3 %
所定外労働時間	9.5 時間	10.0 時間	82.6	90.9	-10.4 %	-3.8 %

(注)1. 「定期給与」とは、あらかじめ定められている支給条件、算定方法によって支給される給与のことで、超過労働給与（所定の労働時間をこえる労働、休日労働、深夜労働に対して支給される給与）を含みます。

2. 「特別給与」とは、給与の差額追給額（ベースアップ分）、3か月をこえる期間単位で支給される住宅手当や通勤手当、賞与（ボーナス）等のことです。

3. 「所定内労働時間」とは、正規の始業時刻と終業時刻との間から休憩時間を差し引いた労働時間のことです。

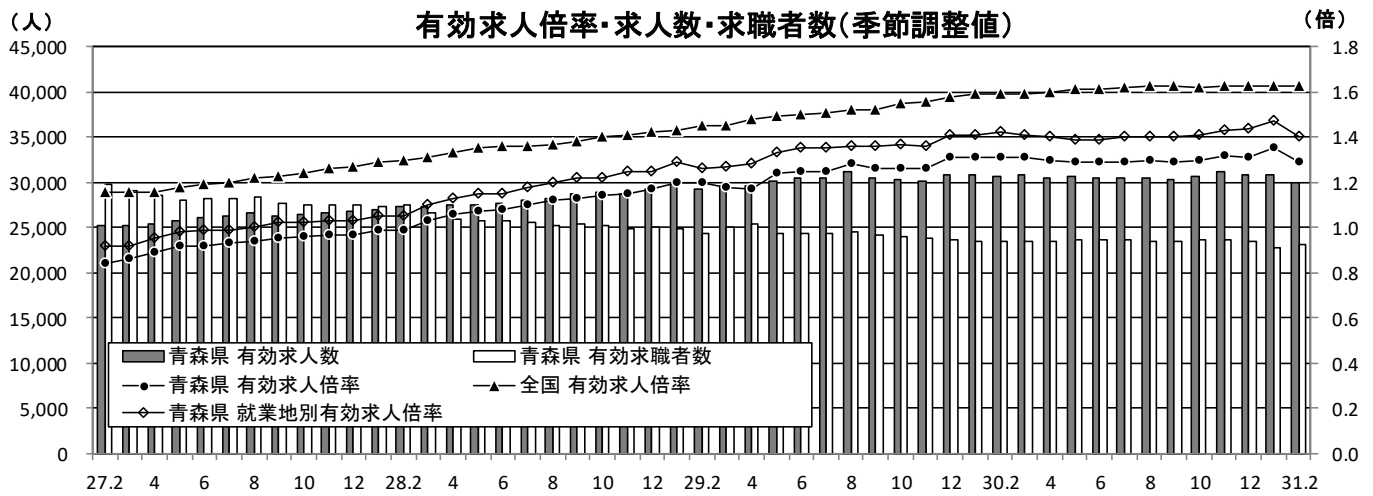
4. 「所定外労働時間」とは、早出、残業、休日出勤等の労働時間のことです。

5. 全国の数値については、平成30年11月確報から、平成24年以降において東京都の「500人以上規模の事業所」についても再集計した値(再集計値)に変更しており、従来の公表値とは接続しないことにご注意ください。

資料：県統計分析課「毎月勤労統計調査結果(速報)」

(2-2-2) 有効求人倍率

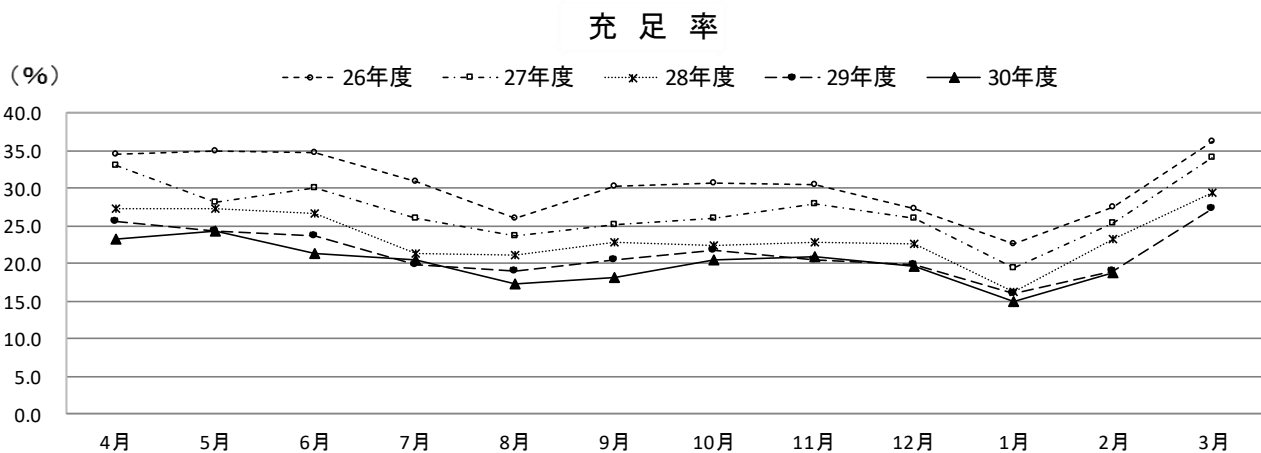
平成31年2月の有効求人倍率（季節調整値）は1.29倍で、前月を0.06ポイント下回った。就業地別有効求人倍率は1.40倍で、前月を0.07ポイント下回った。



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」、厚生労働省職業安定局雇用政策課「一般職業紹介状況」

(参考) 充足率（新規学卒者を除きパートタイムを含む）

平成31年2月の充足率は18.8%で、前年同月と比べ0.1ポイント下回った。



資料：青森労働局職業安定部職業安定課「職業安定業務取扱月報」※充足率＝充足数／新規求人数

(2-3) 物価

平成31年2月の青森市消費者物価指数(平成27年=100)は、総合指数が102.1となり、前月と比べ0.1%の下落、前年同月と比べ0.1%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は102.3となり、前月と同水準、前年同月と比べ0.6%の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は101.9となり、前月と比べ0.1%の上昇、前年同月と比べ0.4%の上昇となった。

総合指数が前月と比べ0.1%の下落となった内訳を寄与度でみると、食料(生鮮果物など)、光熱・水道(他の光熱)などの下落が要因となっている。

総合指数が前年同月と比べ0.1%の上昇となった内訳を寄与度でみると、光熱・水道(電気代など)、諸雑費(たばこなど)などの上昇が要因となっている。

図1 総合指数の動き

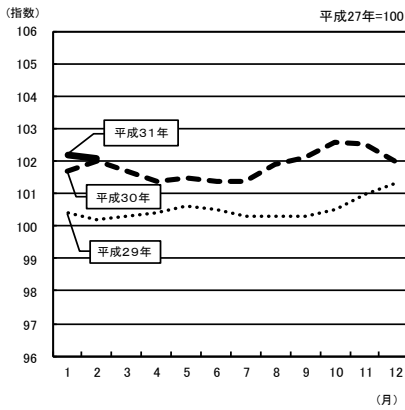


図2 生鮮食品を除く総合指数の動き

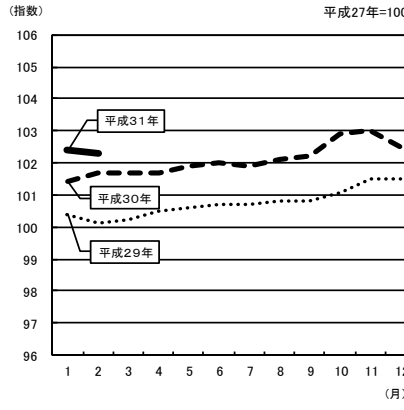
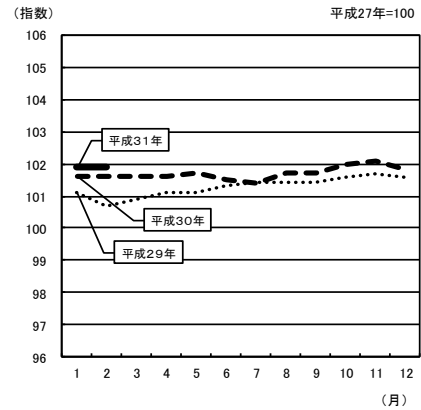


図3 生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数の動き



10大費目指数の動き

(平成27年=100)

	総合	生鮮食品を除く総合	生鮮食品及びエネルギーを除く総合	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	食料	生鮮食品	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被及履	服	保	健康	交通・通信	教育	教	養	諸
	合	品	品	料	料	食	居	水	用	履	物	医	療	信	育	育	楽	雑
当月指数	102.1	102.3	101.9	100.8	104.3	98.1	100.1	104.0	102.1	100.8	102.4	98.8	102.7	102.3	103.4			
前月比(%)	▲0.1	0.0	0.1	0.2	▲0.3	▲0.9	0.0	▲0.5	0.3	0.8	▲0.2	▲0.1	0.0	0.8	0.1			
寄与度	—	▲0.02	0.05	0.11	▲0.10	▲0.04	0.00	▲0.05	0.01	0.02	▲0.01	▲0.01	0.00	0.06	0.01			
前年同月比(%)	0.1	0.6	0.4	0.4	▲1.7	▲9.0	0.2	2.7	1.5	1.6	0.6	▲0.2	0.2	0.7	1.6			
寄与度	—	0.58	0.29	0.27	▲0.48	▲0.45	0.04	0.30	0.06	0.05	0.02	▲0.02	0.01	0.06	0.10			

資料: 県統計分析課「消費者物価指数 月報」

※ **寄与度**とは、ある費目の指数の変動が、総合指数の変化率のうち何ポイント寄与したかを示したものであり、全費目の寄与度を合計すると、原則として、総合指数の前月比及び前年同月比(%)の値に一致する。

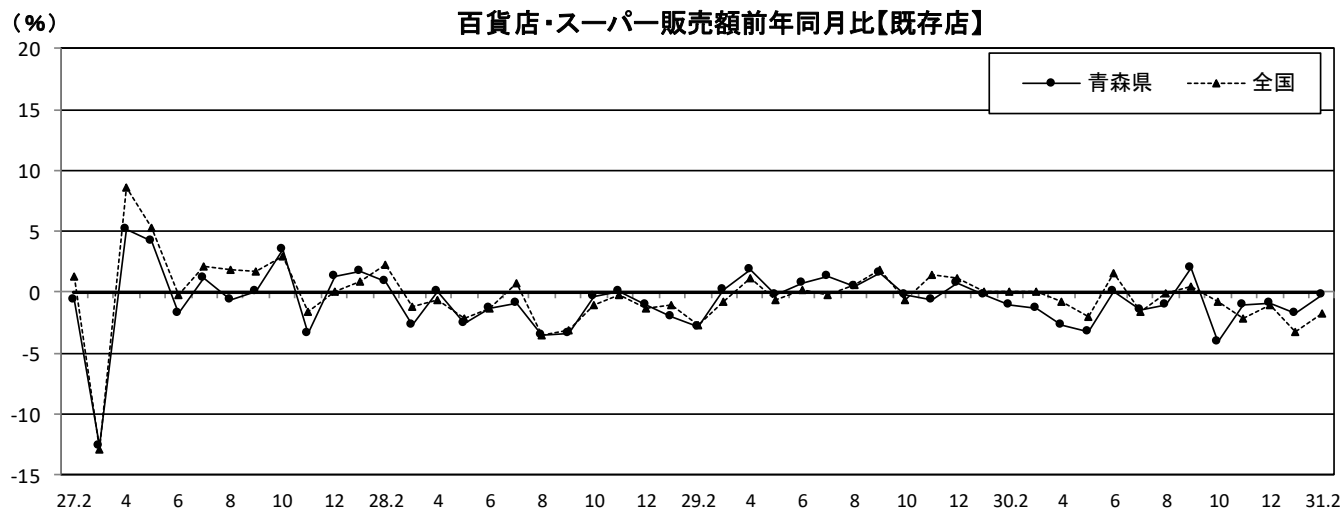
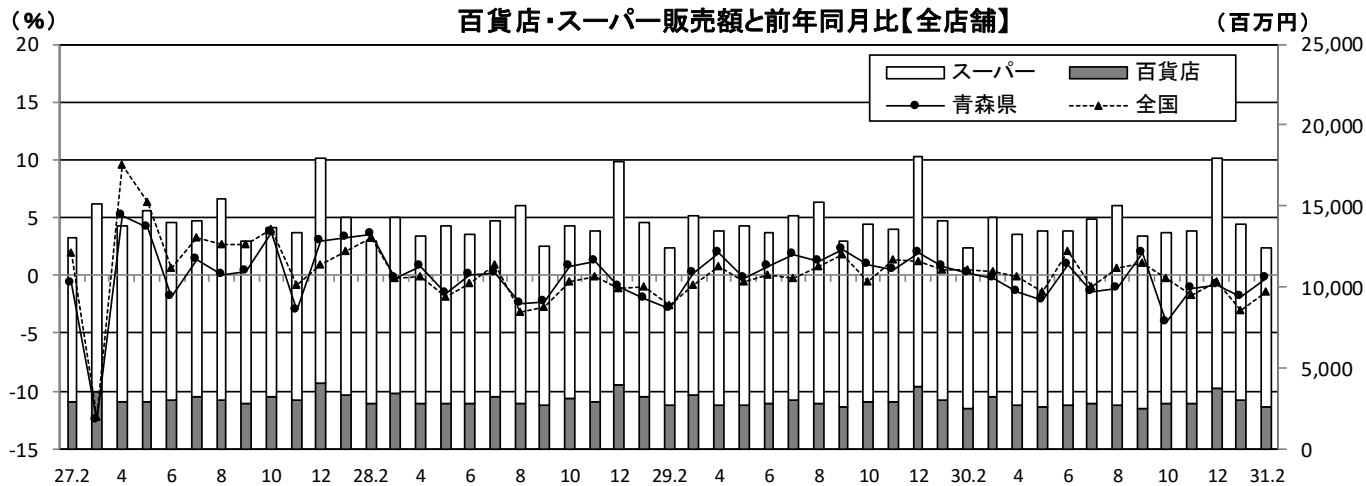
前月比、前年同月比及び寄与度は、端数処理前の指数値を用いて計算しているため、公表された指数値を用いて計算した値とは一致しない場合がある。

本資料は総務省統計局「小売物価統計調査」の調査票情報を独自集計したものである。

(2-4) 個人消費

(2-4-1) 百貨店・スーパー販売額

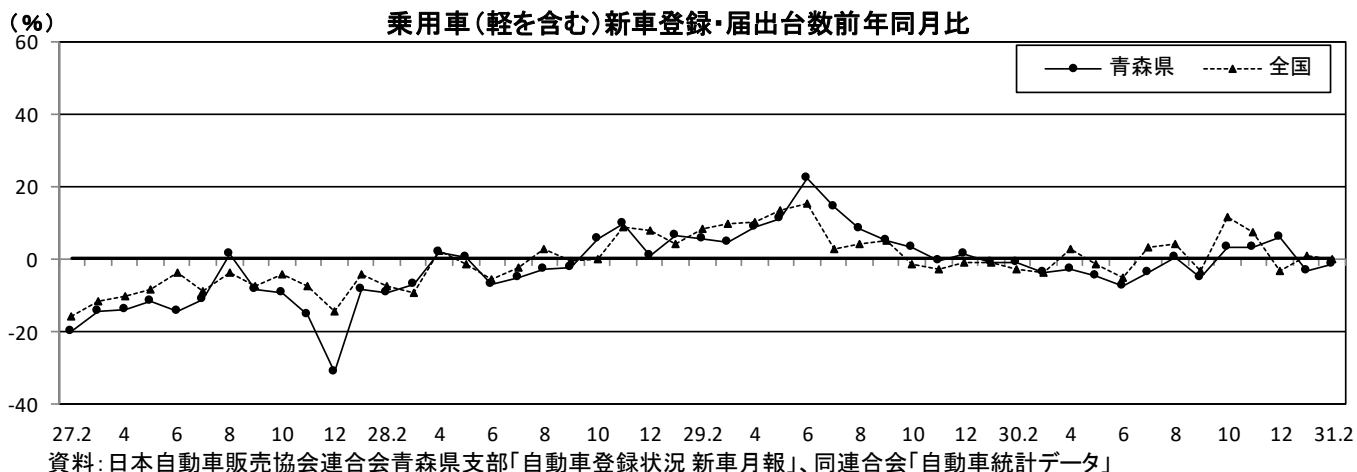
平成31年2月の百貨店・スーパー販売額は、全店舗ベースが124億円で前年同月比0.3%減となり、5カ月連続で前年同月を下回った。また、既存店ベースでも前年同月比0.3%減となり、5カ月連続で前年同月を下回った。



* 大型小売店は従業員が50人以上で売場面積が1,500平方メートル以上の商店をいう。そのうち、既存店とは、当月及び前年同月とも調査の対象となっている商店をいう。

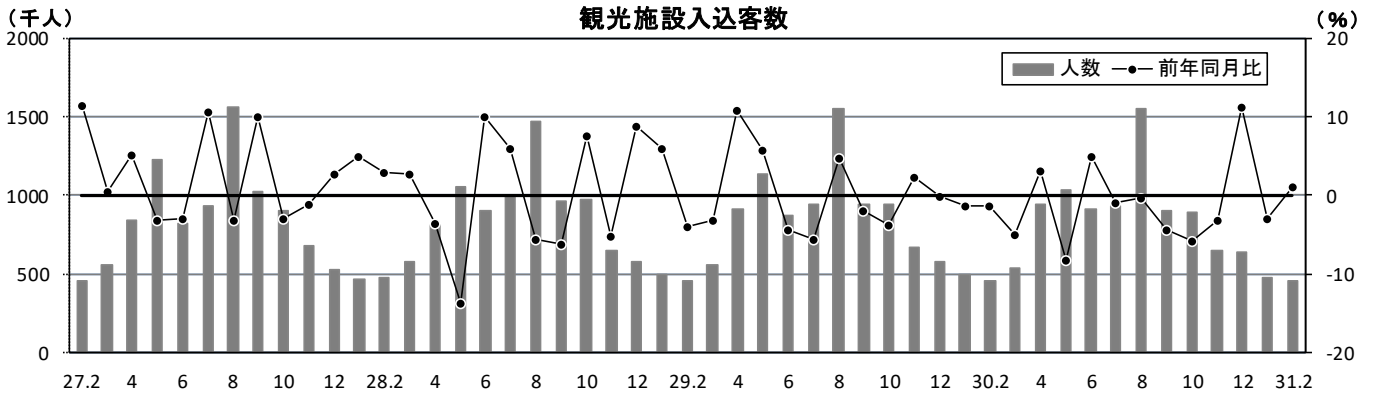
(2-4-2) 乗用車新車登録・届出台数

平成31年2月の軽乗用車を含めた乗用車新車登録・届出台数は3,729台で、前年同月比1.5%減となり、2カ月連続で前年同月を下回った。普通車及び軽乗用車が減少したことによる。

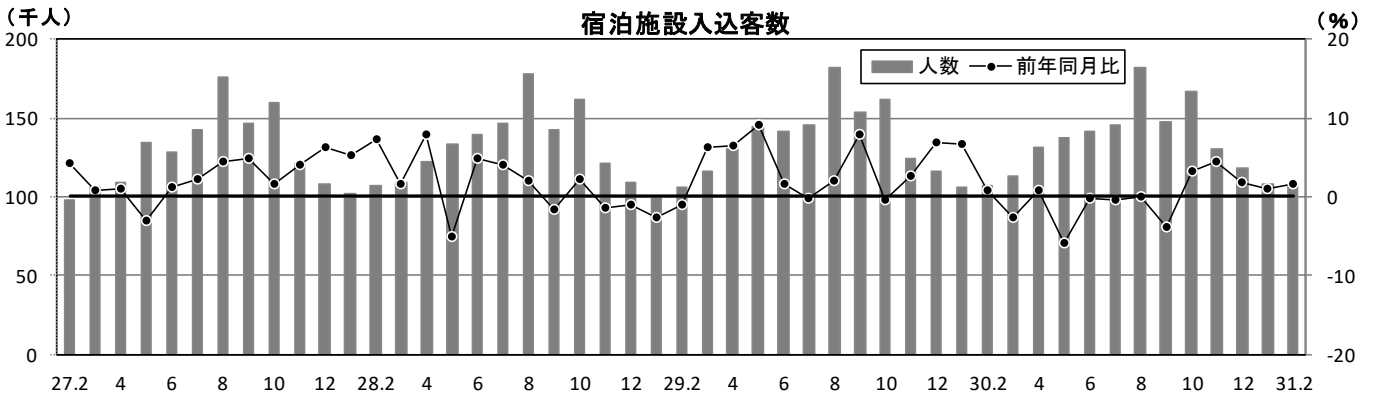


(2-4-3) 観光入込客数

平成31年2月の観光入込客数は、主な観光施設が458千人で前年同月比1.1%増となり、2カ月ぶりに前年同月を上回った。また、主な宿泊施設は108千人で前年同月比1.6%増となり、5カ月連続で前年同月を上回った。観光施設は青森市、八戸市等の施設で増加し、宿泊施設は八戸市、むつ市等の施設で増加したことによる。



資料：県観光企画課「月例観光統計」※観光施設35施設（H24年1月～H26年3月は35施設、H26年4月～H28年12月は34施設、H29年1月以降は35施設対比）

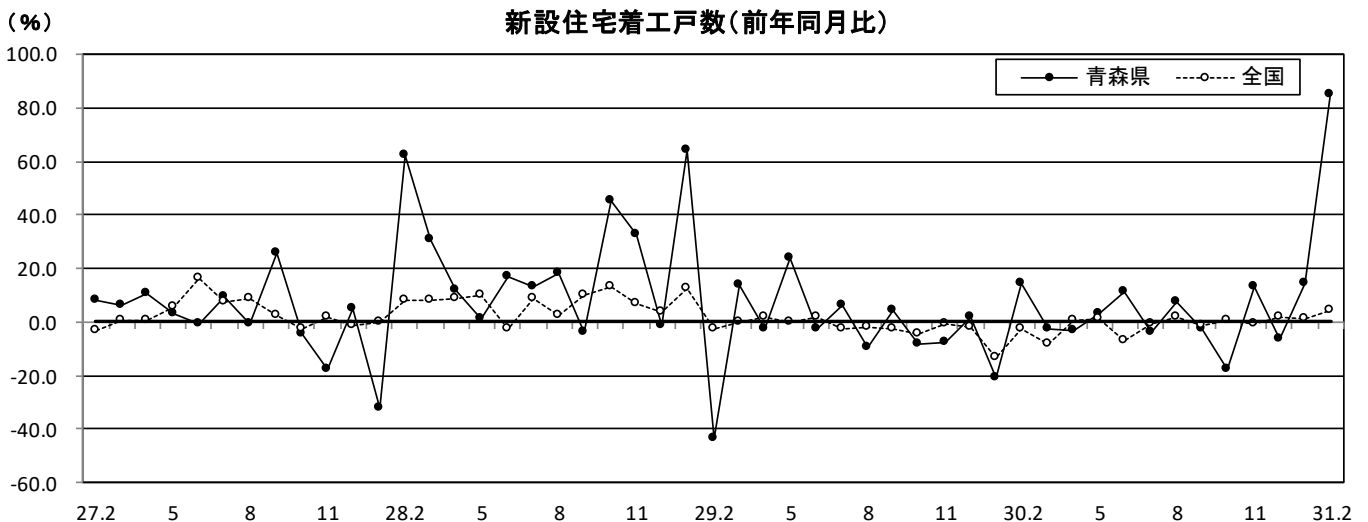


資料：県観光企画課「月例観光統計」※宿泊施設56施設（H24年12月～H26年3月は57施設、H26年4～12月は56施設、H27年1～12月は55施設、H28年1月以降は56施設対比）

(2-5) 建設

(2-5-1) 住宅建設

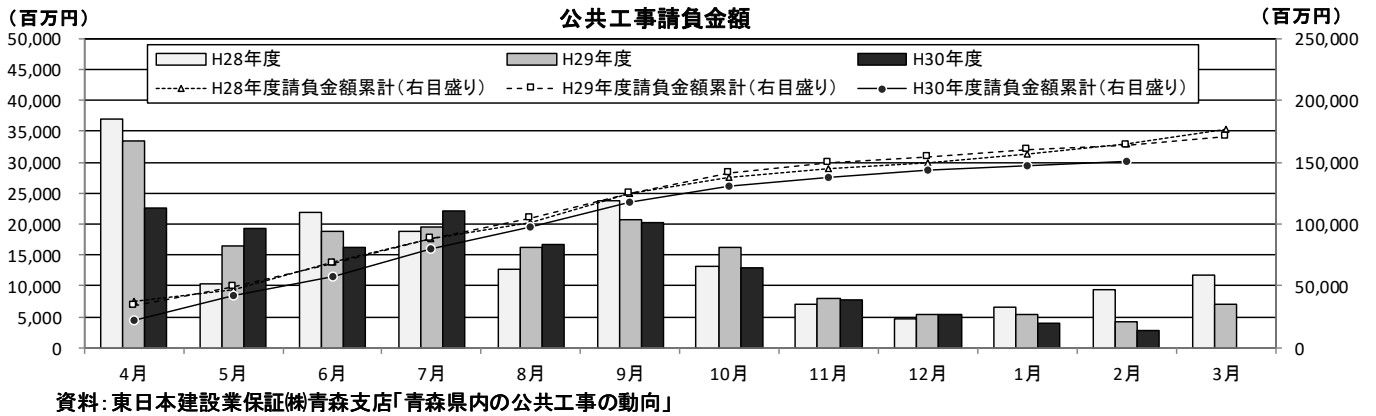
平成31年2月の新設住宅着工戸数は475戸で前年同月比84.8%増となり、2カ月連続で前年同月を上回った。主に貸家が増加したことによる。



資料：県建築住宅課「建築着工統計」、国土交通省「建築着工統計調査報告」

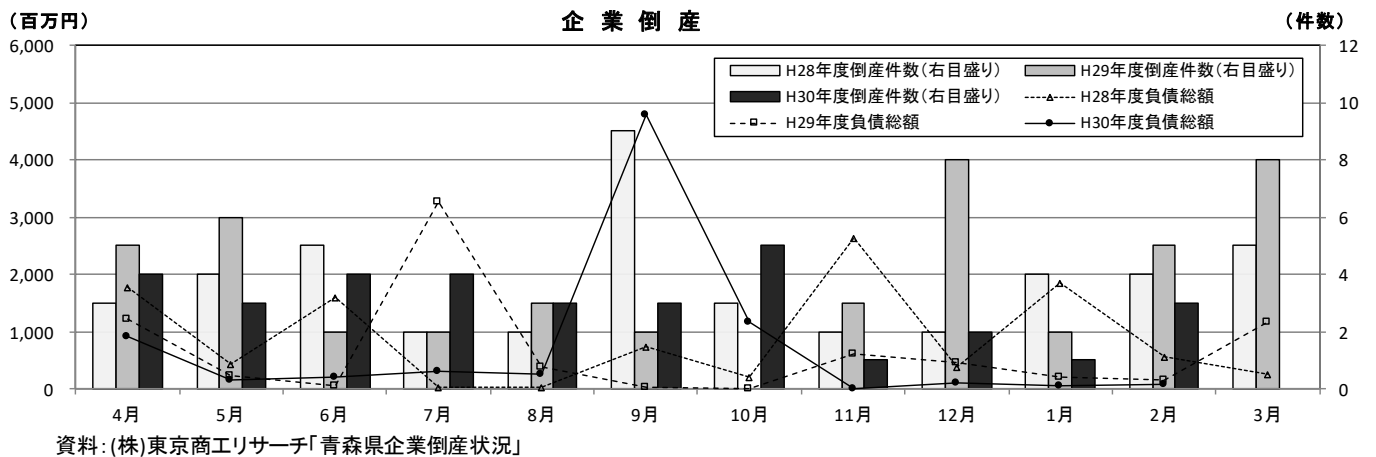
(2-5-2) 公共事業

平成31年2月の公共工事請負金額は28億5,500万円で前年同月比32.5%減となり、国、県などの減少により6カ月連続で前年同月を下回った。また、平成31年2月までの累計金額は1,501億3,900万円で前年同期比8.5%減となった。



(2-6) 企業倒産

平成31年2月の企業倒産は、件数は3件で前年同月比40.0%減となった。負債総額は8,000万円で前年同月比44.8%減となった。また、平成31年2月までの累計倒産件数は33件で前年同期比13.2%の減、負債総額は80億4,100万円で前年同期比21.8%の増となった。



(3) 青森県景気動向指数

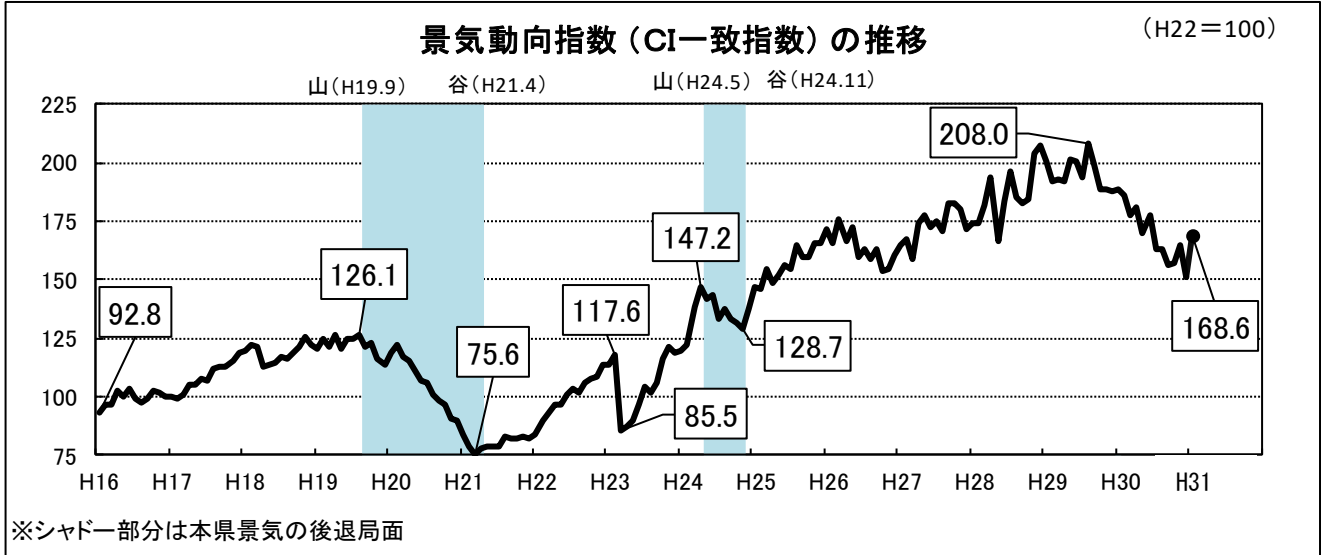
平成31年1月の青森県景気動向指数（C I）は、先行指数 128.0、一致指数 168.6、遅行指数 105.7 となった。

先行指数は、前月を 9.9 ポイント上回り、2 カ月ぶりに上昇した。

一致指数は、前月を 17.5 ポイント上回り、2 カ月ぶりに上昇した。

遅行指数は、前月を 0.2 ポイント下回り、4 カ月連続で下降した。

1 月の一致指数は、消費関連の 1 指数以外が全てプラスになったことから上昇した。



● 個別系列の動き（各指標は季節調整等を行い、寄与度を前月と比較しています）

寄与度がプラスの指標			寄与度がマイナスの指標		
先行系列					
新規求人倍率（全数）	5.51	2カ月ぶり	乗用車新車登録届出数	-2.46	4カ月ぶり
企業倒産件数（逆サイクル）	3.84	3カ月連続	日経商品指数（42種）	-0.37	9カ月連続
新設住宅着工床面積	1.66	2カ月ぶり	中小企業景況DI	-0.04	2カ月ぶり
建築着工床面積	1.05	4カ月ぶり			
生産財生産指数	0.58	4カ月連続			
一致系列					
投資財生産指数	6.55	3カ月ぶり	百貨店・スーパー販売額（既存店）	-0.59	3カ月ぶり
所定外労働時間指数（全産業）	5.86	3カ月ぶり			
鉱工業生産指数	2.63	3カ月ぶり			
有効求人倍率（全数）	2.36	2カ月ぶり			
輸入通関実績（八戸港）	0.60	2カ月ぶり			
旅行取扱高	0.02	2カ月ぶり			
遅行系列					
有効求職者数（全数）（逆サイクル）	1.20	2カ月連続	常用雇用指数（全産業）	-1.47	5カ月連続
家計消費支出（勤労者世帯：実質）	0.77	2カ月ぶり	公共工事請負金額	-0.94	3カ月ぶり
県内金融機関貸出残高	0.58	4カ月ぶり	青森市消費者物価指数（総合）	-0.46	3カ月連続
			りんご消費地市場価格	-0.04	2カ月ぶり

(参考) 青森県景気動向指数（D I）		
先行指数	68.8%	（2カ月連続で50%を上回った）
一致指数	85.7%	（5カ月ぶりに50%を上回った）
遅行指数	42.9%	（2カ月連続で50%を下回った）